

中国文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 Semester	曜日	講時
中国文学概論	中国古典詩歌文学史	2	矢田 尚子	3	木	1
中国文学概論	中国の小説と戯曲	2	土屋 育子	4	木	1
中国文学基礎講読	中国語実用文法研究	2	土屋 育子	3	水	4
中国文学基礎講読	現代文読解による中国語 実用文法研究	2	矢田 尚子	4	水	4
中国語基礎演習	初級中国語	2	チャン ペイルー	3	水	1
中国語基礎演習	初級中国語	2	チャン ペイルー	4	水	1
中国文学各論	中国古典小説・戯曲の受 容と展開	2	土屋 育子	5	火	4
中国文学各論	『韓詩外伝』を読む	2	矢田 尚子	6	火	4
中国文学各論	詩経解釈学史入門	2	種村 和史	集中		
中国文学演習	中国近世文学研究	2	土屋 育子	5	水	3
中国文学演習	中国近世文学研究	2	土屋 育子	6	水	3
中国文学演習	中国当代文学を読む	2	チャン ペイルー	5	木	2
中国文学演習	中国当代文学を読む	2	チャン ペイルー	6	木	2
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	5	金	2
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	6	金	2

科目名：中国文学概論／ Chinese Literature (General Lecture)

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：矢田 尚子 (准教授)

講義コード：LB34101, 科目ナンバリング：LHM-LIT202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：中国古典詩歌文学史

2. Course Title (授業題目)： History and development of Classical Chinese poetry

3. 授業の目的と概要：

【目的】

1. 中国の先秦時代から唐代に到るまでの古典詩を読み、理解を深める。
2. 同時に、いわゆる「漢文」の構造、古体詩と近体詩の違い、近体詩の格律（きまり・法則）など、基本知識をおさえる。

【概要】

中国文学の中でも、特に先秦から唐代までの古典詩歌文学に焦点を絞り、時代・ジャンルごとに重要事項について学習する。実際に代表的な作品を実際に読み、その内容を理解する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

【Course Objectives】

1. In this course, students read poetry from Pre-Qin to Song dynasty to acquire knowledge of Chinese classical literature.
2. At the same time, students grasp the fundamentals of classical Chinese literature such as the construction of classical Chinese writings, differences between archaic style poetry (Gu ti shi) and new style poetry (Jin ti shi), and their rules.

【Course Synopsis】

This course focus on poetry from Pre-Qin to Song dynasty era. The lecturer explains important issues according to era or genre, students actually read the representative poetry and understand the contents.

5. 学習の到達目標：

- ・中国古典詩歌文学に関する基礎知識を身につける。
- ・中国古典詩歌のジャンルや修辞等の歴史的変遷について理解できるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

- ・Students will acquire fundamental knowledge of Chinese classical literature.
- ・Students will be able to understand historical transition of genres or rhetoric of Chinese classical poetry.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. イントロダクション
2. 『詩経』(1)
3. 『詩経』(2)
4. 『楚辞』(1)
5. 『楚辞』(2)
6. 漢代の詩
7. 魏晋の詩(1)
8. 魏晋の詩(2)
9. 南北朝の詩(1)
10. 南北朝の詩(2)
11. 初唐の詩
12. 盛唐の詩(1)
13. 盛唐の詩(2)
14. 中唐の詩
15. 晩唐の詩

8. 成績評価方法：

授業中の応答等、授業参加態度(50%)、筆記試験(50%)

9. 教科書および参考書：

教科書は、プリント配布による。参考書は、授業中に適宜紹介する。

Materials will be handed out at every class. References to further readings will be made in classes.

10. 授業時間外学習：

授業中に示した参考文献に目を通し、授業で得た知識を補い、作品をより深く広く理解する力をつけること。

Students are required to read the references given in classes to supplement the knowledge and deepen understanding about Chinese classical literature.

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学概論／ Chinese Literature (General Lecture)

曜日・講時：後期 木曜日 1 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LB44101, 科目ナンバリング：LHM-LIT202J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

中国の小説と戯曲

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Novel and Drama

3. 授業の目的と概要：

中国の小説・戯曲は、伝統詩文との関わりを保ちつつ、豊かな発展を遂げてきました。本講義では、「小説」と戯曲の起源を理解し、歴史的社会的背景をもとに中国の小説・戯曲がどのように発展してきたのかを、原文資料をもとに学びます。授業を通して、受講者の中国の小説と戯曲に対する基礎知識の再確認と理解を深めることを主たる目的とします。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

In this course, students will understand the origin of Chinese classical novel and drama, learn about changes Chinese classical novel and drama have undergone, based on historical and social background, using the original text.

The main purpose of this course is to review basic knowledge and understand Chinese classical novel and drama.

5. 学習の到達目標：

- (1) 中国文学史（小説・戯曲）について知識を深める。
- (2) 中国の小説・戯曲の特徴を、多角的に考察し、自分の言葉でまとめられる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

1. Students better understand Chinese literature history (classical novel and drama) .
2. Students consider the features of Chinese classical novel and drama from diversified standpoints, and describe them in their own words.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

作品の成立までの背景、作者、概要を説明し、原文と現代日本語訳を用いて作品を鑑賞します。

- 第一回 ガイダンス・志怪小説
- 第二回 唐代伝奇
- 第三回 宋から元への展開と短編小説
- 第四回 演劇史（1）
- 第五回 演劇史（2）
- 第六回 『三国志演義』（1）
- 第七回 『三国志演義』（2）
- 第八回 『水滸伝』（1）
- 第九回 『水滸伝』（2）
- 第十回 『西遊記』（1）
- 第十一回 『西遊記』（2）
- 第十三回 『金瓶梅』
- 第十四回 清代の小説
- 第十五回 まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み（毎回のミニットペーパーも含む）：50%
レポート：50%（レポート課題は講義の最終回に指示）

9. 教科書および参考書：

テキスト：プリント配布
参考書：授業中に紹介

10. 授業時間外学習：

授業中に紹介する参考書等を積極的に読み、講義内容の理解の参考にしてください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学基礎講読／ Chinese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

semester：3, 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LB33402, 科目ナンバリング：LHM-LIT213J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

中国語実用文法研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Grammar

3. 授業の目的と概要：

本講義は、中国語学習歴半年以上の学生が、中国語のリスニング、作文、スピーキングなどの演習を通して、中国語によるコミュニケーション能力・表現能力の向上を目指します。

(中国語を未履修の方は、事前にご相談ください。)

なおこの授業は、講読演習を兼ねています。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course aims to improve the students' ability to communicate and express their thoughts in Chinese, through various activities involving exercises in listening, writing, speaking, and so on.

5. 学習の到達目標：

- (1) 現代中国語の文法について基礎的な事項を理解する。
- (2) 基礎的な作文能力をつける。
- (3) 基礎的な読解力を確実なものとする。
- (4) 中国語の発音をブラッシュ・アップする。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

1. Students understand Chinese basic grammar.
2. Students gain basic writing skills.
3. Students develop basic reading skills.
4. Students brush up basic speaking skills.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第一回 ガイダンス

第二回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (1)

第三回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (2)

第四回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (3)

第五回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (4)

第六回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (5)

第七回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (6)

第八回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (7)

第九回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (8)

第十回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (9)

第十一回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (10)

第十二回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (11)

第十三回 発音、文法説明、翻訳、問題演習 (12)

第十四回 まとめと復習

第十五回 期末試験

8. 成績評価方法：

授業への取り組み、出席：50%

期末試験：50%

9. 教科書および参考書：

教科書：南勇著『チャレンジ！二年生の中国語 簡明会話版』朝日出版社

辞書：小学館『中日辞典』『日中辞典』、または、講談社『中日辞典』『日中辞典』などを用意してください。

10. 授業時間外学習：

毎回、辞書を用いた予習・復習を求めます。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学基礎講読／ Chinese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

Semester：4, 単位数：2

担当教員：矢田 尚子 (准教授)

講義コード：LB43402, 科目ナンバリング：LHM-LIT213J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：現代文読解による中国語実用文法研究

2. Course Title (授業題目)： Study of Chinese Grammar through reading Chinese Contemporary Prose

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国語学習歴 1 年以上の受講生を対象に、中国語のより高度な読解能力を身につけてもらうことを目的として開講します。

【概要】現代中国語で書かれた随筆や短編小説を取り上げて精読します。それを通して、受講生が、これまでに学んできた中国語の基礎的な文法事項について再確認し、中国文化への理解を深めるとともに、中国語発音のブラッシュアップができるよう促します。授業ではテキストを輪番で音読し、読解しますので、受講生の十分な予習が求められます。なお、この授業は、中国語の講読演習を兼ねています。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

【Course Objectives】 This course aims to further improve the students' ability to read contemporary Chinese texts.

【Course Synopsis】 In this course, students read essays or short stories written in modern Chinese. Through reading, students review basic Chinese grammar, deepen knowledge about Chinese culture, and improve Chinese pronunciation. In every class, students are required to read aloud and translate the text into Japanese, therefore sufficient preparation is important.

5. 学習の到達目標：

- ①現代中国語で書かれた随筆文や短編小説を、辞書を使いながら読んで理解し、適切な日本語に訳すことができる。
- ②現代中国語の文法についての高度な知識を習得し、文章の文構造を把握できる。
- ③現代中国語で書かれた文章を正しい発音で音読することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

- ①Students will be able to read essays or short stories written in modern Chinese and translate them in accurate Japanese by using dictionary.
- ②Students will acquire further knowledge about Chinese grammar, and be able to grasp the grammatical constructions of Chinese texts.
- ③Students will pronounce Chinese texts correctly.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 中国現代文読解 (1)
3. 中国現代文読解 (2)
4. 中国現代文読解 (3)
5. 中国現代文読解 (4)
6. 中国現代文読解 (5)
7. 中国現代文読解 (6)
8. 中国現代文読解 (7)
9. 中国現代文読解 (8)
10. 中国現代文読解 (9)
11. 中国現代文読解 (10)
12. 中国現代文読解 (11)
13. 中国現代文読解 (12)
14. 中国現代文読解 (13)
15. 中国現代文読解 (14)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 (発音・翻訳・応答などを含む) 50%、筆記試験 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時にプリント配布する。The materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：

予習：単語の発音や意味を調べ、文構造や文法事項に留意しながら試訳文を作成する。

復習：主要な単語や文を暗記し、文構造を正しく理解できるようにする。

Preparation: Students are required to look up pronunciation and meaning of words in dictionary, translate the texts into Japanese with careful attention to grammatical constructions.

Review: Students are required to memorize important words and sentences and understand grammatical construction of texts.

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国語基礎演習／ Chinese Literature (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 1 講時

セメスター：3, 単位数：2

担当教員：チャン ペイルー (准教授)

講義コード：LB33101, 科目ナンバリング：LHM-LIT214J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：初級中国語

2. Course Title (授業題目)： Mandarin Chinese for Beginners

3. 授業の目的と概要：

この授業は初心者を対象とするもので、中国語の基礎となる発音と文法事項を一通り学び、今後の勉学の土台作りをしておくことを目的とする。まず、中国語の発音と表記法（ピンイン）を習得する。発音練習を繰り返すことによって、記号と実際の発音との結びつきを定着させる。次に、学生生活にまつわる日常的なコミュニケーションに役立つ基礎単語や文法事項を学習していく。この授業を通じて、語学の学習とともに、日中の文化や習慣の違いに対して理解を深めることができる。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

This course is designed for students who learn Mandarin Chinese for the first time. It covers pronunciation and basic grammar of Mandarin Chinese, which will serve as a foundation for further learning. First of all, students learn how to pronounce Mandarin Chinese by using the transcription system known as Pinyin. By repeating the pronunciation, students learn to recognize the relation between sounds and the alphabets used in the Pinyin system. After that, students learn basic vocabulary words and grammar that are related to their student life. Also, this course aims to help students to get a better understanding of the differences in culture and customs between Japan and China.

5. 学習の到達目標：

1. 中国語の発音を弁別でき、ピンインの表記を熟知すること。
2. 中国の基礎単語および基礎文法を身につけて、簡単な日常会話ができること。
3. 中国語を使う人々の文化や考え方に興味を持ち、よりよく理解できるようになること。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

(1) Students will be able to differentiate various sounds in Mandarin Chinese and familiarize themselves with the Pinyin system. (2) Students will learn the basic vocabulary words and grammar and be able to carry out simple daily conversations. (3) Students will develop an interest in the culture and thoughts of the people speaking Mandarin Chinese and have a better understanding of them.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法> テキストの会話文を使い、置き換え練習やロールプレイを通じて学習内容の定着を図る。

<進度予定>

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 発音 (1)
- 第3回 発音 (2)
- 第4回 第1課 何を食べるの？
- 第5回 第2課 それって中国語の新聞？
- 第6回 復習 (1)
- 第7回 第3課 かわいい！
- 第8回 第4課 何人家族？
- 第9回 復習 (2)
- 第10回 第5課 家はどこ？
- 第11回 第6課 ごはん食べた？
- 第12回 復習 (3)
- 第13回 第7課 1枚あげるよ
- 第14回 第8課 ちょっと見せて
- 第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

平常点：60% (課題、小テストなど) 期末試験：40% (口頭および筆記)

9. 教科書および参考書：

<教科書> 『しっかり初級中国語』石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ著、白水社、2016年

<参考書> 『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書 (新訂版)』、相原茂ら著、同学社、2016年

10. 授業時間外学習：

予習：事前に内容を確認し、例文や本文の意味を訳しておく。

復習：学習した部分を読み返し、理解できたかを確認する。また、音声が正確に聞き取れるまで、CDを繰り返し聞くこと。また、音読の練習も3回以上すること。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：成績評価における平常点の割合が高いため、普段の授業時に積極的な授業態度が求められる。

科目名：中国語基礎演習／ Chinese Literature (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 1 講時

セメスター：4, 単位数：2

担当教員：チャン ペイルー (准教授)

講義コード：LB43101, 科目ナンバリング：LHM-LIT214J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：初級中国語

2. Course Title (授業題目)： Mandarin Chinese for Beginners

3. 授業の目的と概要：

この授業は初心者を対象とするもので、中国語の基礎となる発音と文法事項を一通り学び、今後の勉学の土台作りをしておくことを目的とする。まず、中国語の発音と表記法（ピンイン）を習得する。発音練習を繰り返すことによって、記号と実際の発音との結びつきを定着させる。次に、学生生活にまつわる日常的なコミュニケーションに役立つ基礎単語や文法事項を学習していく。この授業を通じて、語学の学習とともに、日中の文化や習慣の違いに対して理解を深めることができる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course is designed for students who learn Mandarin Chinese for the first time. It covers pronunciation and basic grammar of Mandarin Chinese, which will serve as a foundation for further learning. First of all, students learn how to pronounce Mandarin Chinese by using the transcription system known as Pinyin. By repeating the pronunciation, students learn to recognize the relation between sounds and the alphabets used in the Pinyin system. After that, students learn basic vocabulary words and grammar that are related to their student life. Also, this course aims to help students to get a better understanding of the differences in culture and customs between Japan and China.

5. 学習の到達目標：

1. 中国の基礎単語および基礎文法を身につけて、簡単な日常会話ができること。
2. 中国語を使う人々の文化や考え方に興味を持ち、よりよく理解できるようになること。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

- (1) Students will learn the basic vocabulary words and grammar and be able to carry out simple daily conversations.
- (2) Students will develop an interest in the culture and thoughts of the people speaking Mandarin Chinese and have a better understanding of them.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法>テキストの会話文を使い、置き換え練習やロールプレイを通じて学習内容の定着を図る。

<進度予定>

- 第1回 発音と文法の復習
- 第2回 第9課 中国語話せるよ
- 第3回 第10課 まだ食事中?
- 第4回 復習(1)
- 第5回 第11課 心配しないで
- 第6回 第12課 両親が帰ってくるようになって
- 第7回 復習(2)
- 第8回 ステップアップ1 どうやって解いたらいい?
- 第9回 ステップアップ2 起こされちゃった
- 第10回 復習(3)
- 第11回 ステップアップ3 出かけるんじゃなかったの?
- 第12回 ステップアップ4 全然知らなかった
- 第13回 復習(4)
- 第14回 音読練習
- 第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

平常点：60% (課題、小テストなど)

期末試験：40% (口頭および筆記)

9. 教科書および参考書：

教科書：『しっかり初級中国語』石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ著、白水社、2016年

参考書：『Why?にこたえるはじめての中国語の文法書(新訂版)』、相原茂ら著、同学社、2016年

10. 授業時間外学習：

予習：事前に内容を確認し、例文や本文の意味を訳しておく。

復習：学習した部分を読み返し、理解できたかを確認する。また、音声が正確に聞き取れるまで、CDを繰り返し聞くこと。また、音読の練習も3回以上すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：成績評価における平常点の割合が高いため、普段の授業時に積極的な授業態度が求められる。

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LB52403, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：中国古典小説・戯曲の受容と展開

2. Course Title (授業題目)： A study of Chinese classical novel and drama

3. 授業の目的と概要：

本授業では、中国古典小説・戯曲の起源を理解し、社会的・歴史的背景をもとにどのような変遷を遂げ、人々に受け入れられてきたのかを、著名な作品の読解を通じて学ぶ。

また、基本的な分析方法をわかりやすく解説し、分析によって作品の何が見えてくるのかを明らかにする。

本授業では、関漢卿の作品を中心に、関連する作品との比較を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

In this course, students will understand the origin of Chinese classic novel and drama and learn about changes Chinese classic novel and drama has undergone, based on social and historical background, learn how they have been received by people through reading masterpieces.

In addition, this course explains basic analysis method clearly and helps students understand what accepts of works they can understand with these theories.

In this course, the lecturer explains Guan Hanqing's drama and so on.

5. 学習の到達目標：

(1) 中国古典文学の小説・戯曲に関する基礎的知識を学ぶ。

(2) 各作品の読解を通して、変化の様相を理解し、自分の言葉でまとめられるようになる。

(3) 基礎的な中国古典文の読解力とそれを支える語彙力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

(1) Students learn basic knowledge related to Chinese classical novel and drama.

(2) This course is designed to help students to understand changes and describe them in their own words through reading each pieces in each period of history.

(3) Students will develop basic reading skills and build a strong vocabulary crucial to understanding Chinese classic texts.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 ガイダンス

第2回 関漢卿とその作品について

第3回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (1)

第4回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (2)

第5回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (3)

第6回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (4)

第7回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (5)

第8回 関漢卿の雑劇 読解と解説 (6)

第9日 関漢卿と同時代の雑劇作家とその作品について

第10回 白朴の雑劇 読解と解説 (1)

第11回 白朴の雑劇 読解と解説 (2)

第12回 鄭光祖の雑劇 読解と解説 (1)

第13回 鄭光祖の雑劇 読解と解説 (1)

第14回 呉昌齡の雑劇 読解と解説

第15回 全体のまとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み (50%)

レポート (発表用の資料作成等) (50%)

9. 教科書および参考書：

プリントを配布。

参考書は授業中に紹介する。

10. 授業時間外学習：

配布資料には事前に目を通しておくこと。

作品読解では、出席者が読解する回を設けます。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicate the practical business

12. その他：

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：矢田 尚子 (准教授)

講義コード：LB62402, 科目ナンバリング：LHM-LIT303J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

『韓詩外伝』を読む

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Han shi wai zhuan

3. 授業の目的と概要：

【目的】中国文言文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】漢代に編纂された故事説話集の一つである『韓詩外伝』を解説します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

【Course Objectives】This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】In this course, we interpret Han shi wai zhuan, a book collecting some 300 anecdotes and stories chosen to highlight the poems of the Shi Jing (Book of Poetry). The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, the presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：

- ①中国文言文を読む際に必要な基礎的事項を理解し、実際に運用することができる。
- ②分かりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して疑問点や問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

- ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.
- ②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.
- ③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『韓詩外伝』について (1)
3. 『韓詩外伝』について (2)
4. 『韓詩外伝』の読解 (1)
5. 『韓詩外伝』の読解 (2)
6. 『韓詩外伝』の読解 (3)
7. 『韓詩外伝』の読解 (4)
8. 『韓詩外伝』の読解 (5)
9. 『韓詩外伝』の読解 (6)
10. 『韓詩外伝』の読解 (7)
11. 『韓詩外伝』の読解 (8)
12. 『韓詩外伝』の読解 (9)
13. 『韓詩外伝』の読解 (10)
14. 『韓詩外伝』の読解 (11)
15. まとめ

8. 成績評価方法：

授業参加態度（質疑応答）50%、発表内容（レジュメおよび口頭での説明）50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時にプリントして配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems.

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. **実務・実践的授業/Practicalbusiness :**

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他 :

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時： 通年集中 その他 連講

セメスター： 集中, **単位数：** 2

担当教員： 種村 和史 (非常勤講師)

講義コード： LB98808, **科目ナンバリング：** LHM-LIT303J, **使用言語：** 日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

詩経解釈学史入門

2. Course Title (授業題目)：

Introduction to the history of Shijing (the Book of Songs) hermeneutics

3. 授業の目的と概要：

中国古典の研究成果は、伝統的に注釈という形で表現されることが多くなされてきた。とりわけ儒教の經典の一つである『詩経』は、大量かつ多様性に富んだ注釈書が蓄積されており、古典中国の学術のあり方の恰好の例となっている。注釈書を読み比べることにより、歴代の学者の文学・道徳・政治などに対する認識を知ることができると同時に、その変遷を見ることによって中国学術思想の流れを理解することもできる。また、注釈書に展開された詩経の詩篇の解釈の方法と理論は、現代の我々が文献を読解する上でも、有用である。

本授業では、代表的な注釈書を比較しながら読解する訓練を行い、詩経解釈学史の特徴・問題意識を理解し、古典の読み方と問題の抽出のしかたを身につけることを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

Traditionally, academic findings on Chinese classics have taken the form of annotations and commentary on the source works. Shijing (the Book of Songs), one of the classical Confucian texts, has accumulated a particularly vast and diverse body of commentary; it therefore serves as a highly illustrative example of classical Chinese scholarship. Comparative readings of the academic commentaries reveal how literary, moral and political views and values have changed across successive generations of scholars. Such comparative analysis therefore becomes the key to understanding the development of Chinese academic thought. Furthermore, hermeneutic techniques and theory applied in Shijing commentaries and annotations can be implemented elsewhere, making them valuable for a contemporary reader.

This course involves comparative reading and analysis of the representative samples of Shijing commentary; the main goal is to help students understand the primary objectives of Shijing interpretations and the specifics of the Shijing hermeneutics history. In the process, students are supposed to acquire problem identification skills and interpretative strategies necessary for reading classical Chinese texts.

5. 学習の到達目標：

詩経解釈学史の大きな流れを踏まえた上で、主な詩経注釈書の読解法を習得する。

詩経注釈に見られる解釈の方法論、問題意識を理解する。

授業を通して学んだ解釈の方法論、問題意識の、自身の研究への応用可能性を考えることができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

Students will learn how to interpret the key commentaries in the light of the larger history of Shijing hermeneutics.

Students will develop an understanding of the primary issues and hermeneutic methodology that characterize the body of Shijing commentary and annotations.

Students will be able to utilize in their own research the methodology of literary interpretation and problem identification skills acquired through this course.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

詩経注釈に表れる三つの問題（詩篇の構成についての理解・登場人物の性格についての理解・道徳的問題についての理解）を廻って、講義と実習（教材の読解）との組み合わせによって行われる。

第1・2回は、詩経および詩経解釈学史についての基本知識を学ぶ。

第3・4回は、漢唐詩経学の注釈書であり、詩経解釈に纏わる問題の源泉と言うべき『毛詩正義』の読解の訓練を行う。

第5回は、『毛詩正義』読解から得られた詩経解釈上の第一の問題の意義について講義によって学ぶ。

第6・7回は、この問題が宋代の詩経学者によってどのような展開を遂げたか、欧陽修『詩本義』・朱熹『詩集傳』・嚴粲『詩緝』などを教材にして読解する。

第8・9回は、第二の問題に取り組むべく『毛詩正義』の読解に取り組む。

第10・11回は、抽出された問題について、その後の宋代詩経学およびそれ以後の時代の詩経学における展開を確認するために、注釈書の読解を行う。

第12回は、この問題の詩経学および関連分野における意義を学ぶ。

第13回・第14回は、歴代の詩経注釈を比較しながら、第三の問題に取り組む。

第15回は、本授業のまとめと履修者自身の研究テーマへの応用可能性について話し合い、詩経解釈学史研究の現代的意義を考える。

ただし上記の授業計画は、学習者の理解度・関心のありどころによって適宜変更する可能性がある。

8. 成績評価方法：

詩経注釈の読解方法の習熟度、詩経解釈の方法論・問題意識に対する理解度、およびそれらの自身の研究との関係性あるいは応用可能性に対する主体的思索を、授業時のプレゼンス（80%）と課題（20%）によって測る。

9. 教科書および参考書：

授業で用いる教材は、教員が用意して配布する。

参考書：

目加田誠『詩経研究』上篇第三章（目加田誠著作集第一巻、龍溪書舎、1985）

戴維『詩経研究史』（湖南教育出版社、2001）

種村和史『詩経解釈学の継承と変容——北宋詩経学を中心に据えて——（研文出版、2017）

Reading materials will be distributed in class.

Reference books:

Mekada Makoto, Shijing Kenkyū, vol.1, ch.3 (The

10. 授業時間外学習：

授業で扱う教材の予習。

授業時に与えられた課題を準備する。

Students should read all texts before class and be prepared to discuss related issues and debatable points (discussion topics will be assigned in advance).

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 3講時

semester：5, 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LB53305, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の通俗文学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力を習得することを目的とします。授業は、発表と質疑応答によって進めます。今学期は、『西遊記』とこれに関連する作品を取り上げます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course is designed to help students understand the fundamental knowledges about Chinese popular literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese popular literature. This course is centered on a presentation and a questions and answers session. In this semester class, students read the "Journey to the West".

5. 学習の到達目標：

- (1) 中国古典文（文言と白話）の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を踏まえ、白話文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

1. Students improve Chinese popular literature reading skill.
2. Students gain the perspective needed to review
3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.
4. Students understand changes Chinese popular literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. インTRODククション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料作成を含む）：50%

9. 教科書および参考書：

テキストはプリントを配布。

参考文献は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：

辞書を用いて、予習・復習をしてください。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

12. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 3講時

Semester：6, 単位数：2

担当教員：土屋 育子（教授）

講義コード：LB63305, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Chinese Popular Literature

3. 授業の目的と概要：

中国近世の白話文学作品の読解を通して、中国の俗文学に関する基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力、分析し鑑賞する力を習得します。授業は、発表と質疑応答によってすすめます。今学期は、『西遊記雑劇』とこれに関連する作品を取り上げます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)

This course is designed to help students understand the fundamental knowledges about Chinese popular literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese popular literature. This course is centered on a presentation and a questions and answers session. In this semester class, students read “Drama of Journey to the West” .

5. 学習の到達目標：

- (1) 中国古典文（文言と白話）の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を踏まえ、白話文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)

1. Students improve Chinese popular literature reading skill.
2. Students gain the perspective needed to review
3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.
4. Students understand changes Chinese popular literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりである。

1. イントロダクション
2. 作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料の作成も含む）：50%

9. 教科書および参考書：

テキストはプリントを配布。Textbooks are handed out at the beginning of the course.

参考文献は授業中に指示。References books will be designated at every class.

10. 授業時間外学習：

辞書を用いて、予習・復習してください。原文の一字一字についてそれがどのような意味か、その箇所が前後の文脈からどのような状況を言っているのか、などに気を配りながら、丁寧な学習をこころがけてください。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：5, 単位数：2

担当教員：チャン ペイルー (准教授)

講義コード：LB54203, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

中国当代文学を読む

2. Course Title (授業題目)：

Selected Readings of Contemporary Chinese Literature

3. 授業の目的と概要：

この授業では、ノーベル文学賞の受賞作家である莫言氏のエッセイや旅行記、講演内容より抜粋された文章を精読し、現代中国語の読解力を鍛えるとともに、中国の社会や文化について知見を深める。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

In this course, reading materials are selected from the essays, travel journals and speeches of the Nobel Prize winner Mo Yan. These materials will be read in details in order to provide students with an opportunity to improve their reading comprehension of modern Mandarin Chinese as well as gain necessary knowledge about the society and culture of China.

5. 学習の到達目標：

現代中国語の文学作品を正確に読み解き、内容にかかわる社会的・文化的背景を調べる力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

Students will develop the ability to read modern Chinese literary works with accuracy and learn how to find necessary information about the social or cultural backgrounds of these works.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

＜授業内容・方法＞輪読形式で、担当者が関連資料を調べてレジュメを作成し、発表する。

＜進度予定＞

第1回 ガイダンス

第2回 〈陪考一日〉の精読

第3回 〈陪考一日〉から中国の社会や文化を読み解く

第4回 〈爷爷的故事〉の精読

第5回 〈爷爷的故事〉から中国の社会や文化を読み解く

第6回 〈从照相说起〉の精読

第7回 〈从照相说起〉から中国の社会や文化を読み解く

第8回 〈我的老师〉の精読

第9回 〈我的老师〉から中国の社会や文化を読み解く

第10回 〈童年读书〉の精読

第11回 〈童年读书〉から中国の社会や文化を読み解く

第12回 〈谈鲁迅杂感〉の精読

第13回 〈谈鲁迅杂感〉から中国の社会や文化を読み解く

第14回 〈杂谈读书〉の精読

第15回 〈杂谈读书〉から中国の社会や文化を読み解く

8. 成績評価方法：

発表：60%

課題（作品の和訳など）：40%

9. 教科書および参考書：

＜教科書＞プリント配布。

＜参考書＞『中国文化事典』中国文化事典編集委員会、丸善出版、2017年

10. 授業時間外学習：

予習：辞書などで調べて、指定された箇所の和訳をする。翻訳の際に感じた疑問点を書きとめる。

復習：発表で取り扱われた関連資料やレジュメを読み返し、正確に理解できたかを確認する。自分の考えを文章にまとめる。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：6, 単位数：2

担当教員：チャン ペイルー (准教授)

講義コード：LB64204, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

中国当代文学を読む

2. Course Title (授業題目)：

Selected Readings of Contemporary Chinese Literature

3. 授業の目的と概要：

この授業では、ノーベル文学賞の受賞作家である莫言氏のエッセイや旅行記、講演内容より抜粋された文章を精読し、現代中国語の読解力を鍛えるとともに、中国の社会や文化について知見を深める。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

In this course, reading materials are selected from the essays, travel journals and speeches of the Nobel Prize winner Mo Yan. These materials will be read in details in order to provide students with an opportunity to improve their reading comprehension of modern Mandarin Chinese as well as gain necessary knowledge about the society and culture of China.

5. 学習の到達目標：

現代中国語の文学作品を正確に読み解き、内容にかかわる社会的・文化的背景を調べる力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

Students will develop the ability to read modern Chinese literary works with accuracy and learn how to find necessary information about the social or cultural backgrounds of these works.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

＜授業内容・方法＞輪読形式で、担当者が関連資料を調べてレジュメを作成し、発表する。

＜進度予定＞

第1回 ガイダンス

第2回 〈漫长的文学梦〉の精読

第3回 〈漫长的文学梦〉から中国の社会や文化を読み解く

第4回 〈马〉の精読

第5回 〈马〉から中国の社会や文化を読み解く

第6回 〈另一种相遇〉の精読

第7回 〈另一种相遇〉から中国の社会や文化を読み解く

第8回 〈出长沙〉の精読

第9回 〈出长沙〉から中国の社会や文化を読み解く

第10回 〈北海道的人〉の精読

第11回 〈北海道的人〉から中国の社会や文化を読み解く

第12回 〈小说的気味〉の精読

第13回 〈小说的気味〉から中国の社会や文化を読み解く

第14回 〈用耳朵阅读〉の精読

第15回 〈用耳朵阅读〉から中国の社会や文化を読み解く

8. 成績評価方法：

発表：60%

課題（作品の和訳など）：40%

9. 教科書および参考書：

＜教科書＞プリント配布。

＜参考書＞『中国文化事典』中国文化事典編集委員会、丸善出版、2017年

10. 授業時間外学習：

予習：辞書などで調べて、指定された箇所の和訳をする。翻訳の際に感じた疑問点を書きとめる。

復習：発表で取り扱われた関連資料やレジュメを読み返し、正確に理解できたかを確認する。自分の考えを文章にまとめる。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

semester：5, 単位数：2

担当教員：矢田 尚子 (准教授)

講義コード：LB55203, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：

【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。
- ②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

- ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.
- ②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.
- ③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『楚辞』について(1)
3. 『楚辞』について(2)
4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)
5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)
6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)
7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)
8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)
9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)
10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)
11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)
12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)
13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)
14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)
15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時にプリントして配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems.

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他 :

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 2 講時

semester：6, 単位数：2

担当教員：矢田 尚子 (准教授)

講義コード：LB65202, 科目ナンバリング：LHM-LIT318J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名： 】

1. 授業題目：

楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目)：

Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：

【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)

【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：

- ①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。
- ②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。
- ③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)

- ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.
- ②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.
- ③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス
2. 『楚辞』について(1)
3. 『楚辞』について(2)
4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)
5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)
6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)
7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)
8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)
9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)
10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)
11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)
12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)
13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)
14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)
15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書：

教材は授業開始時にプリントして配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：

予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems.

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness :

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他 :